

# 190. 常微分方程式ノ解ノ單獨條件ニ就テ, III

福原満洲雄(北大)

前回(48号)ニ挙ゲタ解ノ單獨條件ハ岡村博氏ノ論文

*Sur l'unicité de la solution de  $\frac{dy}{dx} = f(x, y)$*

(京都帝大理学部紀要, A, 17)ノ322頁ニアル *Corollaire*

カラ導カレルトイフコトヲ岡村氏カラ御注意下サイマシタノデ、

ココニ報告致シマス。

尚氏ノ方法ニヨリマスト $F(y)$ ハ連続デアリサヘスレバヨ  
イノテ、ソレヲ増加函数トスル必要ハナカツタノデアリマ  
ス、コレモ當然予想サレル事柄デアツタノデスガ、準備ノ  
定理ヲ作ラズニヤラウトシタ爲メニ入ツテ來タ不自然ナ條  
件デアツタノデス。岡村氏ノ方法ハ此ノ種ノ問題ニ對シテ  
少クトモ現在、最良ノ結果ヲ導クモノノヤウニ思ヒマス。  
何故カトイヒマスニ、ソレハ比較定理ト変数ノ変換ノ最モ  
良イ *combination* ノ上ニ立ツテ其レカラデス、即チ  
定理1 (319頁)ハ比較定理デアツテ少シデモ此ノ方面ノ  
理論ヲ知ツテ居ラレル人々ニハ恐ラク容易ニ想像サレルデ  
アラウト思ハレル基本的ナ定理デス、コノ定理ニ現ハレテ  
來ル補助ノ微分方程式ヲ変数ノ変換ニ利用シタ所ニ(否、  
変数ノ変換ニ利用スルタメニ補助ノ微分方程式ノ右辺ノ微  
分可能性ヲ導入シタ所ニツイッタ方が適當カモ知レナイ)  
最モ注目ニ値スルモノガアルトイヘルデセウ、此ノ短文ガ  
頗ル興味ノアル前述ノ岡村氏ノ論文ノ紹介ニ役立テバ幸デ  
ス。